

新技術研究成果証明書

研究名称：管路診断技術に関する研究

(成果証明書番号 第17005号)

研究成果品：「下水道管路改築・修繕事業技術資料」 2006年3月

研究者：日本水工設計株式会社

(研究の目的)

本研究は、管路施設の改築・修繕事業を効率的に進められるよう点検・調査から設計、施工までの一連の工程を体系化するとともに、各工程で発生する情報について標準データ仕様を定めることにより、各データを効率的に利用できるようにする。また、これらデータを蓄積することにより災害時における迅速な復旧に寄与できるよう災害復旧の流れを整理することを目的とする。

(研究の内容)

本研究は、改築・修繕事業の調査から施工までを一連の業務として体系的に整理し、計画的かつ効率的な事業が行えるように検討を行った。また、改築・修繕事業を進めるために必要となる情報について、標準データ仕様の設定を行った。さらに、災害時における下水道管路施設の被災状況調査から災害査定資料作成までの流れを整理し、災害復旧に活用できるようにした。

(研究の期間)

平成16年9月から平成18年3月まで

(研究の成果)

本研究の成果である下水道管路施設改築・修繕事業技術資料を活用することで、改築・修繕事業実施に伴う点検・調査から設計、施工までの一連の工程を計画的かつ効率的に実施することができる。また、こうした蓄積情報は、災害時における迅速な復旧に寄与できることを確認した。

(共同研究者)

本研究は、財団法人下水道新技術推進機構と下記の10社による共同研究である。

東京都下水道サービス株式会社
株式会社三水コンサルタント
株式会社日水コン
日本理水設計株式会社

オリジナル設計株式会社
株式会社東京設計事務所
日本上下水道設計株式会社

国際水道コンサルタント株式会社
中日本建設コンサルタント株式会社
日本水工設計株式会社

財団法人下水道新技術推進機構に設置された技術委員会において厳格なる審議を行った結果、本研究は上記の研究成果を確認できたことを証明する。

2006年6月1日

財団法人 下水道新技術推進機構

理事長 松井大悟

